

244回例会 早春の賤ヶ岳山麓と余呉川堤の植物観察

〈開催日時〉 2015年3月22日(日)
 〈集合場所〉 木之本駅 9:30
 〈参加者〉 片山・北側 担当幹事以下 20名

9:30木之本駅前に集合し、片山幹事から今日の観察会のコースについて説明があった。「春分の日」の翌日天候に恵まれて絶好の観察会になった。気温も上がり誰も上着を1枚脱いでスタートした。

片山幹事からの説明シーン



黒田のアカガシを目指す。田んぼの畦や民家の庭は早春の草花が咲いていた。
 オオイヌノフグリ ツクシ

タネツケバナ



ウメ

ヤブツバキ

アセビ



コハコバ

余呉川を渡り、黒田へ入る



黒田の村に入る
 黒田家と黒田家と村の関係

黒田官兵衛・長政の先祖「宗清」の石塔

満開の サンシュユ



今観察会の目玉の一つ
 黒田のアカガシ

アカガシに陽光を遮られている地面にも春が来ている
 ショウジョウバカマ タチツボスミレ



樹齢四百年の「一ノ宮のシラカシ」を鑑賞して、伊香具神社を目指し散策
ハリガネゴケ アカゴケ



シラカシ



キリの蒴果



ヤマエンゴサク

用水路に設けられている 魚の休憩所



ネコノメソウ



ヤマネコノメソウ



稲の乾燥に使う ハンノキ



伊香具神社で昼食。この日は、偶然にも年1回も行われる伊香具神社の「神事の日」でした。

伊香具神社：古い昔、鳥居は琵琶湖の中にあっただと言う
控え柱のある鳥居 厳島神社と同じ 長い参道

養蚕の盛んだった頃が偲ばれる
現在も作っている



知る人ぞ知る「想古亭」



イチリンソウ



ニリンソウ



《感想》

片山幹事によると、「一週間前の下見の時は、未だ雪が残っていた」とのこと。今日は暖かく想像もつかない日和ですが、確かに言われると草花の生育は遅そうに思いました。
黒田の「アカガシ」・一ノ宮の白樫は、迫力があり見るものを圧倒します。人々の信仰の対象になるオーラを感じました。
今日歩いた賤ヶ岳の山裾の村々は、懐かしい佇まいで出会う土地の人は皆さん優しく気楽に声を掛けてくれました。
余呉川の土手歩きは、歩くだけで楽しく幼いころを思い出しました。でも足元近くの畑は、猪・鹿・猿の被害がひどく、
嚴重な囲いなどの対策をしてました。昔は、こんな風景はなかったのに・・・
帰りには、木之本地蔵にお参りし、おみやげも買いました。楽しい一日をありがとうございました。